

エジプトの小学校で初めての ヤマハ(株)のリコーダーを使ったスクールコンサートを実施

国際協力機構(JICA)とヤマハ株式会社(静岡県浜松市、中田卓也代表執行役社長)は2021年6月よりエジプトで「初等教育への日本型器楽教育導入案件化調査」を実施中です。リコーダーを使用した日本型の器楽音楽教育を通じて子供の非認知能力(協調性、自尊心、規律、モチベーションなどソフト面での人的スキル)の育成を推進するとともに、同国の教育事情に寄り添った音楽授業の普及につながる、持続的なビジネスモデルの確立を目指しています。これはSDGsの目標4「質の高い教育」と目標17「目標のためのパートナーシップ」に貢献することが期待されています。

「エジプト・日本学校(EJS)」のパイロット校9校において、2021年11月より日本の小学3年生・4年生にあたるグレード3と4の児童を対象としたリコーダーの授業が続けられてきましたが、学年末の5月末～6月初旬には、エジプトで初めてのリコーダーを使った音楽コンサートが、各校で開催されました。コンサートに向けて、ヤマハによる教師向けの集中研修が行われ、教師と児童たちは目標を持って一生懸命努力しました。コンサートでは、リコーダーの頭部管だけで音を出して強弱に気を付けて演奏したり、指の器用さに関係なく自分の音や表現を楽しんだり、素晴らしい発表となりました。

今年9月の新学期からは、パイロット校9校からEJS全48校にリコーダーを使った器楽教育を拡大する予定です。なお、授業開始前と1年後に生徒へのアンケートを実施することで、ヤマハの独自教材 Music Time を使用したリコーダー教育が、子どもたちの非認知能力にどのような影響を与えたかの比較検証も進められています。



スクールコンサートの様子 (写真提供: EJS 10th of Ramadan2校・スエズ校)

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部企業連携課 担当：梅村 (案件担当)
 TEL: 052-533-1387 FAX: 052-564-3751
 E-mail: Umemura.Naomi2@jica.go.jp

日本の真ん中から世界へ
 JICA 中部



<https://www.jica.go.jp/chubu/index.ntml>